

城下町から産業都市へ

江戸時代から続く家内工業的な手工業から、明治20年代になると徐々に大規模な工場での近代産業が発達していった。



愛知物産組：織物工場



七宝焼の製造



扇子の製造

重要工産品 上位10業種の変化

品 目	明治22年	30年	44年	
			順位	金額
陶磁器	360,000	103,500	③	2,956,717
綿糸	169,468		①	7,860,304
油類	114,622	122,677		475,610
織物	106,973	509,897	②	4,772,869
七宝	85,000	109,450		204,950
漆器	50,030	115,500		436,000
扇子	30,000	270,000		345,000
刺繍	25,700	10,005		200,000
マッチ	12,347	540,000		488,160
麦稈・木真田	3,375	25,300		26,044
鼻緒・履物			④	2,205,764
菓子		137,800	⑤	1,554,382
セメント			⑥	1,222,705
車両			⑦	1,000,481
指物			⑧	961,420
織機及び機械			⑨	916,561
時計		321,538	⑩	835,655



マッチの製造



麦稈真田の製造



日本陶器



愛知セメント



日本車輛



原製糸



帝国燃糸



豊田式織機

(写真は『愛知県写真帖』明治43年)